

『感染対策 チーム側の対応』（消毒用品は各チームにて準備）

【試合前】

- 1、直近の14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察が必要とされている国・地域等へ渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合は入場不可。
⇒上記該当者は経過観察期間（14日間）を経て入場可能とする。
- 2、アップ時は選手間の間隔をとる。（ソーシャルディスタンス）
⇒二人組でのアップ（柔軟体操等）時はマスクを着用する。
- 3、チーム備品類（バット、ヘルメット等）の消毒を行う。
⇒除菌用品はチームで用意する。
- 4、ベンチ内ではマスクを着用する。
- 5、メンバー表のほか、健康チェックシートに必要事項を記入して提出する。
⇒後日、濃厚接触の疑いが生じた際に連絡がとれるようにする。（必須）

【試合中】

- 6、試合開始及び試合終了の挨拶時は、全員がベンチ前に集合する。（マスク着用）
- 7、ベンチ内ではマスクを着用する。（出場選手を含む）
- 8、ベンチ内では密にならないよう間隔をとる。
- 9、円陣はマスクを着用し短時間でを行うものとし、大声での声出し等は禁止する。
- 10、一塁及び三塁コーチはマスクを着用する。
- 11、指示は大声を出さず、応援は拍手等で行う。（コーチ、ベンチ共通）
- 12、ハイタッチ等は禁止する。（肌が触れ合う行為は行わず、工夫した対応をとる）
- 13、飲み物の回し飲みは禁止する。
⇒ペットボトル等は必ず自分で持ち帰ること。
- 14、打者はバットグローブを着用する。
⇒着用できない場合は、その都度バット（使用前、使用后）を消毒する。
- 15、ヘルメットを共用する場合は、その都度消毒する。
- 16、キャッチャー用具類（ヘルメット、マスク、レガース等）共用する場合は、その都度消毒する。
- 17、その他、チーム共用品は必要の都度こまめに消毒する。

【試合後】

- 18、グラウンド整備はマスクを着用し、短時間で実施する。
- 19、グラウンド整備終了後は速やかに退場する。
- 20、帰宅後は手洗い、うがい等を励行する。

以 上